

第四十五回
築城郡絵図

江戸時代、京築地域は北から京都郡、仲津郡、築城郡、上毛郡の四つの郡で構成されていました。築城郡はさらに角田、椎田、八田、安武の四つの手永（てなが）から成り、各手永には大庄屋という役職が置かれ、その下の四十一か村の庄屋を管轄していました。

明治時代になると手永制度は廃止され、福岡県では明治十一（一八七八）年、明治政府の方針に基づき、郡制が敷かれました。明治二十九（一八九六）年、築城郡と上毛郡が合併し、「築上郡」が誕生し、現在の豊前市八屋に郡役所が置かれました。写真の絵図は合併前の築城郡全体を描いた築城郡絵図です。

絵図上の「御茶屋」等の表記および、築城郡役所の朱印が押されていることから、おそらく江戸時代に描かれた郡絵図を福岡県に郡制が敷かれた明治十一年から郡合併の明治二十九年までの間に描き写したものと考えられます。この絵図を見ると、その詳細さ



▲築城郡絵図

縦 270×横 171 cm
(およそ畳二畳分の大きさ)



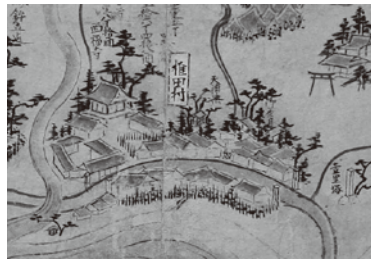
▲(部分) 現 築上町下本庄付近

中央に描かれるのが「本庄の大楠」。下は堂山、通称一ノ戸。移転前の小倉山神社が見える。城井川西側の現県道はまだない。



▲(部分) 弓ノ師交差点 (メタセの杜前)

歩道脇に現在も残る道標。「従是南英彦山道」「従是東中津道」「従是西香春道」とある。



▲(部分) 現 椎田駅前の町並

椎田村入口に建つ「一里塚」は残念ながら現存しないが、西福寺山門前に里程標が建つ。もと中津街道沿いにあったもの

に驚かされます。例えば、郡奉行の役宅である郡屋（現延塚記念館）は、椎田村の町並みの中に「御茶屋」（藩や幕府の要人が休息する場所）と記載される付近と考えられます。郡屋は御茶屋と繋がっていたといわれており、御茶屋よりも街道沿いの建物が多々見られる建物でしょう。よく見ると、その建物の横には高札場（藩や幕府が新たな法令や掟書等を掲示する場所）があり、現在の町役場と同じ機能を持っています。なお、江戸時代末期にこの郡屋の建物は現在の椎田小学校付近に移転したといえます。そうしたことから、この郡絵図は築城郡郡屋が移転する以前のものを前記の時期に描き写したといえるでしょう。絵図に見える西福寺は現在も同地に立地しています。以前、本欄で紹介したた弓ノ師交差点（メタセの杜前）

に現在も残る道標（街道沿いに設置された石製の標識。里程や行先を示す）も描かれます。

「築城郡絵図」は築上町歴史民俗資料館に常設展示されています。ぜひ一度ご来館いただき、現在ご自身がお住まいの場所を絵図上で探してみたいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれませんよ。

（文化財保護係 馬場克幸）

※築上町歴史民俗資料館（延塚記念館内）は毎週木・土・日曜日・祝日の午前九時から午後五時まで開館。連休は毎日開館しています。（五月一日のみ休館）

緑

のふるさと協力隊

富岡 健太 No. 1

皆さん、はじめまして。
4月9日、築上町に着任しました緑のふるさと協力隊の富岡健太（とみおかけんた）です。早速ですがこの場を借りて少し自己紹介をします。

私は、1993年11月27日生まれの21歳。両親が元青年海外協力隊をしていた関係で、福島県で誕生しましたが、現在の実家は静岡県です。仕事関連の場所に連れて行かれたこともあり、海外生活の経験もあります。特技は少林寺拳法の初段と、さほど上手くはないですがサッカーです。趣味は読書でファンタジーやSF、ミステリーなど様々のジャンルの小説を読んでいます。

今回、緑のふるさと協力隊に応募した理由は次のとおりです。
まず自分は昆虫をはじめ生物などがいる自然環境が大好きで、都会とは違う自然に囲まれた田舎に住んでみたいと思っていたから。次に、私は自然環境を専門とした専門学校に通っていたことがあり、専門学校で習った知識を使ってみたくてからです。

そして、今回ご縁があり、築上町に着任することになりました。九州には父方の両親、つまり私の祖父母が福岡市に住んでいますので福岡に来るのは初めてではありませんが、築上町は右も左も分からない状態です…。着任してまだ数日しかたっていないのですが、家から役場へ行く道を迷ってしまいました。その時、道を教えてくれた方や、笑顔で挨拶してくれる近所の方々、優しく接してくれる役場の皆様、築上町の温かい優しさに感激しています。

春はお祭りシーズンなので、これから沢山のお祭りに参加していきたいと思っています。

どんな1年間になるか分かりませんが、気合を入れて活動したいと思っています。若輩で未熟者ですが、私なりに精一杯頑張ります!! 築上町の皆様よろしくお祈りします!!

